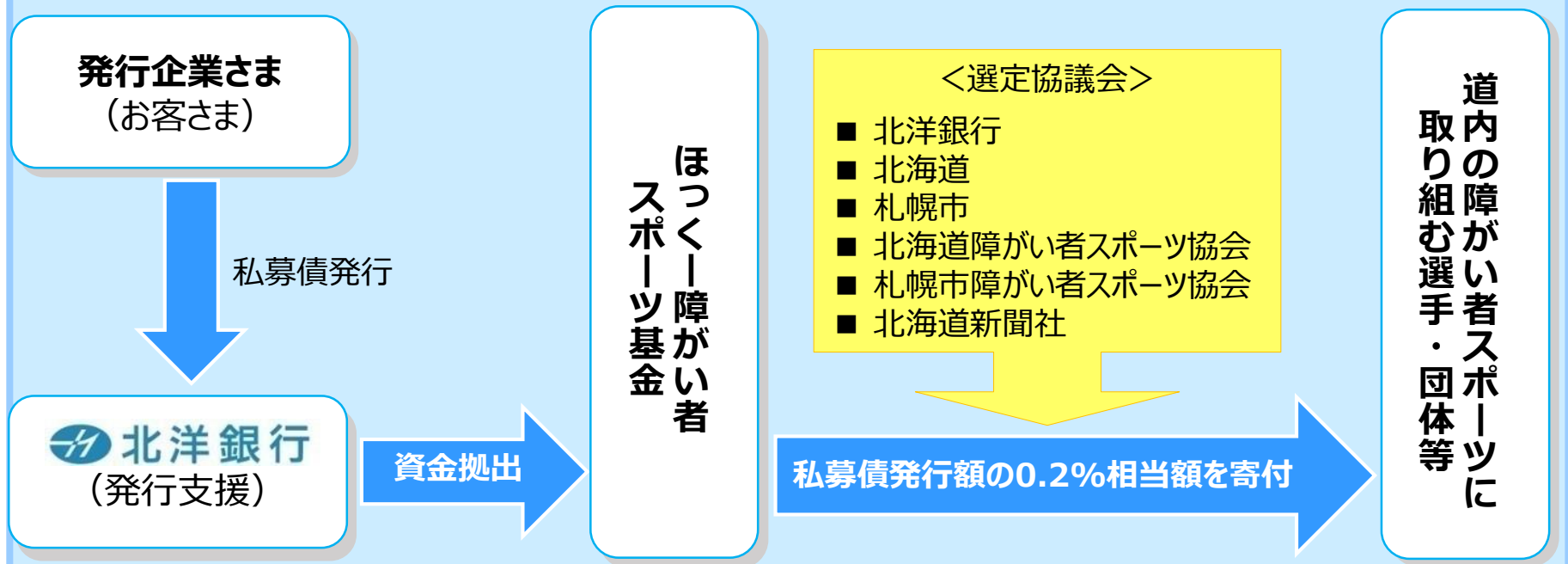


ほっくー障がい者スポーツ基金

2022年度 寄付先のご紹介

『SDGs（パラスポーツ応援）私募債』について

お客さまに私募債を発行いただくことで、北洋銀行が「ほっくー障がい者スポーツ基金」を通じて道内の障がい者スポーツ活動に取り組む選手・団体等に寄付金を贈ります。



2022年度寄付先について

2022年度は総額220万円を寄付します。

寄付先の選定に際しては「ほくー障がい者スポーツ基金選定協議会」にて、寄付目的に関する2つのカテゴリーを設定し、次の5先に決定しました。

【カテゴリー1】

世界を目指す選手の応援

- ① 石原 美海 選手
＜バレーボール＞
- ② 櫻庭 まどか 選手
＜ボウリング＞

【カテゴリー2】

普及・振興活動への支援

- ③ 公益財団法人
北海道障がい者スポーツ協会
- ④ 一般社団法人
札幌市障がい者スポーツ協会
- ⑤ 2023FISパラノルディック
スキーアジアカップ札幌大会

①石原 美海（いしはら みなみ）選手【苫小牧市】

日本代表選手

1. 選手プロフィール

[障がい]両感音性難聴 [競技]バレーボール [所属]北翔大学

2. 活動の概要

【競技を始めたきっかけ】

小学校3年終了後の春休みに友人からの誘いを受け、体験からスタート。
春休み明けの小学4年の時に入部を決めた。

【主な競技成績】

- 2018年2月 JDVA主催デフカップ川崎大会に北海道チームとして出場 第3位
- 2018年5月 デフバレー日本代表候補としてスタート
- 2020年2月 JDVA主催デフカップ川崎大会に各地域選抜チームとして出場 優勝
- 2020年7月 デフバレーボール世界選手権イタリア大会 コロナの為中止
- 2022年5月 デフリンピックブラジル大会出場 準決勝の時に無念の辞退
- 2022年7月 JDVA主催デフカップ神戸大会に大阪チームとして出場 優勝

3. 今後の目標

2024年6月に沖縄で世界選手権、2025年11月に東京でデフリンピックが開催されます。
金メダル獲得を目標に活躍する姿をお見せできるように一生懸命努力していきます。



1. 選手プロフィール

[障がい]両耳感音性難聴

[競技]ボウリング

[所属]NBFラウンドワン函館支部

2. 活動の概要

【競技を始めたきっかけ】

2017年、健聴者の姉がボウリングする姿を見て、私も始めました。

【主な競技成績】

- 2018年9月 全国ろうあ者体育大会 個人戦 10位
- 2019年3月 全国ろう者ボウリング選手権 9位
デフナショナルチームのメンバーに初選出
- 2019年9月 全国ろうあ者体育大会 個人戦 6位
- 2022年5月 第24回夏季デフリンピック(カシアスドスル)日本代表選出
(会場都合のため、ボウリング競技中止)
- 2022年9月 全国ろうあ者体育大会 個人戦 7位
団体戦 準優勝(北海道)

3. 今後の目標

国際大会やアジア大会でよい成績を残して2025年東京デフリンピック出場を目指す。さらに、メダルを取って子どもたちに夢を与えたい。支えてくれる家族や仲間たちにも恩返しできたらと思っています。



③公益財団法人北海道障がい者スポーツ協会【札幌市】

1. 団体について

【設立】1985年7月 【代表者名】会長 佐藤 俊夫

【会員数】248人

2. 活動の概要

【団体の目的】

北海道における障がいのある人のスポーツの普及と振興を図り、スポーツを通じた体力づくりや仲間づくりによる社会参加を啓発するとともに、健康で生きがいのある地域社会の実現に努め、福祉の向上と健全な社会の発展に寄与することを目的として活動。

【主な事業内容】

はまなす車いすマラソン・北海道障がい者スポーツ大会等の各種スポーツ大会の開催、全国大会への選手派遣、スポーツ教室・スポーツ指導者育成講習会の開催。2015年から、当行と北海道との包括連携協定に基づく協働事業である「北洋銀行スポーツ応援事業」の事業実施主体として同事業を運営中。

【2022～2023年度の事業計画】

■大会開催・派遣事業

北海道障がい者スポーツ大会、北海道障がい者冬季スポーツ大会、はまなす車いすマラソン、北海道身体障がい者アーチェリー競技大会、北海道障がい者水泳大会、北海道障がい者卓球競技大会、北海道身体障がい者ゲートボール大会、北海道障がい者ボウリング大会、全国障害者スポーツ大会北海道選手団派遣

■教室開催、指導者養成事業

障がい者スポーツ教室、障がい者スポーツ競技指導者研修会
初級障がい者スポーツ指導員養成講習会

■団体助成事業 障がい児者スポーツ団体助成



④一般社団法人 札幌市障がい者スポーツ協会【札幌市】

1. 団体について

【設立】1995年3月 【代表者名】会長 浅香 博文

【会員数】11団体

2. 活動の概要

【団体の目的】

札幌市内の障がい者に対するスポーツの普及と振興を図り、障がい者がスポーツを通じて体力の維持向上と、互いの交流を深めることにより障がい者の福祉の増進に寄与することを目的とする。

【主な事業内容】

- 障がい者スポーツの普及、啓発
- 障がい者の各種スポーツ大会の開催、派遣
- 障がい者スポーツに関する指導者の育成
- 障がい者スポーツに関する研修会、講習会の開催
- 障がい者の各種スポーツ団体の育成、指導、助成
- 障がい者スポーツに関する調査、研究

【2022～2023年度の事業計画】

- 第22札幌市障がい者スポーツ大会(すずらんピック2022)の開催
- 第22回札幌市身体障がい者ボウリング大会の開催
- 第22回全国障害者スポーツ大会(いちご一会とちぎ大会)の派遣
- 全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会の派遣
- スポーツ教室の開催（アーチェリー、卓球、水泳）
- 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会の開催
- スポーツ協会だよりの発行
- スポーツクラブの育成・助成



⑤ 2023 FIS パラノルディックスキーアジアカップ札幌大会

【開催概要】

- 開催期間 2023年3月18日～21日
- 会場 白旗山競技場（札幌市清田区真栄）
- 主催 特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟
- 後援 札幌市・独立行政法人日本スポーツ振興センター
- 公認 FIS（国際スキー連盟）
- 参加 30名（IDを含む）
- 競技種目 クロスカントリースキー
18日(土) 5km（クラシカル）
19日(日) スプリント（クラシカル）
21日(火) 10km（フリー）

